

京都女子大学 阿鹿ゼミ

迷わない京都、迷わせない旅 — 観光ルート選定アプリ「おこしやすナビ」

受賞：データおいでやす賞

■ 発表概要

日常の小さな違和感（バスが満員で乗れない、外国人観光客とのマナートラブルなど）をデータサイエンスで解決。京都市バスの赤字路線を活用した観光ルート提案アプリを開発した。

■ 課題の発見

市民意識調査より（令和5年）

- ・ マナー違反で迷惑：47%以上
- ・ 公共交通機関の混雑：62%以上
- ・ 観光地・周辺の混雑：66%以上

市バス経営状況（令和6年）

- ・ 全系統中 黒字系統：28.9%（24系統）
- ・ 赤字系統：71.1%が依然として赤字
- ・ 観光客集中による一部路線の慢性的混雑
- ・ 市民の日常利用への支障が深刻

■ アプリ「おこしやすナビ」の概要

- ・ 対象ユーザー：訪日外国人（メイン）、京都市民・自治体・事業者（受益者）
- ・ 機能①：AIによるオーダーメイドルート提案（赤字路線バスを優先的に使用）
- ・ 機能②：マナー紹介コラム（ルート生成中に京都の文化・ルールを表示）
- ・ 機能③：観光地検索・バス停地図情報

■ 使用データ

- ・ 観光客データ・観光バスデータ（訪日回数・性別・入国都道府県など）
- ・ 京都市バス経営情報（系統別黒字・赤字状況）
- ・ 3月に実際にアプリをリリースし、東京都府内の方々にテスト利用

■ 今後の展望

多言語対応（英語・中国語等）の実装、年齢・性別・出身地別の好みの傾向把握によるパーソナライズ機能、アカウント登録でのルート保存機能の追加を予定。

行政側の意思決定支援ツールとしての活用に加え、地域の商店街・DMOへの展開も視野に。

■ 審査員コメント

「日常の違和感をデータサイエンスで課題に変える点が素晴らしい。赤字路線を活用するインフラ最大化の発想、マナー問題への処理の組み込みも優れている」（工藤審査員）

「赤字路線を使う動機をユーザー視点で設計することが今後の鍵。フィルターの使いやすさが差別化ポイントになる」（杉岡審査員）

